学校番号	４１１

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	詳説世界史世界史Ｂ　（山川出版）						
副教材等	ニューステージ世界史詳覧（浜島書店） 時代と流れでつかめる用語問題集世界史Ｂ（文英堂）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年で学んだ世界史Ｂを発展させて、とくに近現代史を中心として、地理的条件や日本の歴史等とも関連づけながら理解を深めよう。世界の歴史を概観し、その中からこれから生きていく地球世界での課題を見出し、解決の手がかりを主体的に考え、自信をもって未来へ踏み出してほしいと願っている。

2　学習の到達目標

２年で学んだ世界史Ｂをさらに発展させて、とくに近現代史を中心に、現代の世界と関連づけて理解を深めていく。世界の一体化に伴って諸地域が多様で複雑なネットワークで結ばれ、それぞれの地域の内部構造が変容をせまられる状況を経て現在の世界が形成されたことを学び、よりよい未来の国際社会をつくりあげていくための教養と判断力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近世・近代から現代に至る歴史の展開に対する関心を高め、意欲的に追究し、歴史的な思考力を育み、国際社会に主体的に生きる現代人としての態度を養う。	近世・近代から現代に至る世界の歴史の展開を総合的に思考し、政治・経済・社会・文化などの諸要素を多面的に考察・判断して、文章にまとめて表現する。	教科書・副読本に掲載されている地図や写真、図版などの諸資料を適切に活用し、その中から歴史上の要点を読み取って、各時代の特色について理解を深める。	近世･近代から現代に至る世界の歴史についての基本的な事柄を学び､俯瞰的に世界の歴史を理解し､その知識を身につける。
評価方法	作業プリント	定期考査	定期考査 作業プリント	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	第Ⅲ部	第7章　アジア諸地域の繁栄					a:明清、ルネサンス以降の近代ヨーロッパ、アメリカ独立革命、フランス革命について、関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 明清、ルネサンス以降の近代ヨーロッパ、アメリカ独立革命、フランス革命について、多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:近世、近代のヨーロッパについての資料や地図を適切に活用している。 d: 明清、ルネサンス以降の近代ヨーロッパ、アメリカ独立革命、フランス革命について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント
		1. 東アジア世界の動向		○	○	○		
		2. 清代の中国と隣接諸地域		○	○	○		
		3. トルコ・イラン世界の展開	○	○	○	○		
		4. ムガル帝国の興隆と東南アジア交易の発展		○		○		
		第8章　近世ヨーロッパ世界の形成						
		1. ヨーロッパ世界の拡大	○	○		○		
		2. ルネサンス	○	○	○	○		
		3. 宗教改革	○	○	○	○		
		4. ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成	○	○	○	○		定期考査 作業プリント
		第9章　近世ヨーロッパ世界の展開						
		1. 重商主義と啓蒙専制主義		○		○		
		2. ヨーロッパ諸国の海外進出		○	○	○		
		3. 17～18世紀ヨーロッパの文化と社会	○	○	○	○		
		第10章　近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立						
		1. 産業革命		○		○		
		2. アメリカ独立革命	○	○		○		
		3. フランス革命とナポレオン	○	○		○		

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
2学期	第Ⅲ部	第11章　欧米における近代国民国家の発展					a:19 世紀の欧米やアジア諸地域の歴史について、関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 19 世紀の欧米やアジア諸地域の歴史について、多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 19 世紀の欧米やアジア諸地域の資料や地図を適切に活用している。 d: 19 世紀の欧米やアジア諸地域の歴史について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント
		1. ウィーン体制の成立		○		○		
		2. ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生	○	○		○		
		3. 南北アメリカの発展	○	○	○	○		
		4. 19世紀欧米の文化	○	○	○	○		
		第12章　アジア諸地域の動揺						
		1. オスマン帝国支配の動揺と西アジア諸地域の変容		○		○		
		2. 南アジア・東南アジアの植民地化		○		○		
		3. 東アジアの激動		○	○	○		
		主題学習Ⅲ　資料から読み解く歴史の世界	○	○	○			
	第Ⅳ部	第 13 章　帝国主義とアジアの民族運動					a:帝国主義、二度の世界大戦、戦後の冷戦について、関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 帝国主義、二度の世界大戦、戦後の冷戦について、多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 帝国主義、二度の世界大戦、戦後の冷戦についての資料や地図を適切に活用している。 d: 帝国主義、二度の世界大戦、戦後の冷戦について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント
		1. 帝国主義と列強の展開	○	○		○		
		2. 世界分割と列強対立	○	○	○	○		
		3. アジア諸国の改革と民族運動		○		○		
		第 14 章　二つの世界大戦						
		1. 第一次世界大戦とロシア革命	○	○	○	○		
		2. ヴェルサイユ体制下の欧米諸国	○	○	○	○		
		3. アジア・アフリカ地域の民族運動		○	○	○		
		4. 世界恐慌とファシズム諸国の侵略	○	○	○	○		
		5. 第二次世界大戦		○		○		
		第 15 章　冷戦と第三世界の独立						
		1. 米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興		○	○	○		
		2. 第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り	○	○		○		
		3. 石油危機と世界経済の再編		○		○		

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
3学期	第Ⅳ部	第16章　現在の世界 1. 社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展 2. 途上国の民主化と独裁政権の動揺 3. 地域紛争の激化と深刻化する貧困 4. 現代文明の諸特徴 主題学習Ⅳ　資料を活用して探究する地球世界の課題	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	a:冷戦の終結、グローバリゼーションや地域統合の進展について、関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 冷戦の終結、グローバリゼーションや地域統合の進展について、多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 冷戦の終結、グローバリゼーションや地域統合の進展についての資料や地図を適切に活用している。 d: 冷戦の終結、グローバリゼーションや地域統合の進展について理解し、その知識を身につけている。	作業プリント 小テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。